

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート(令和5年度)

施設名	吹田市資源リサイクルセンター	所管部室課名	環境部環境政策室
所在地	吹田市千里万博公園4-3	設置年月日	平成4年11月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	ごみの減量、再資源化及び再生利用の推進を図り、快適な生活環境づくりや持続可能な社会の実現を目指す。		
(2)規模、開館日等	【規模】 1 市民工房2 :30人 6 展示室 :170㎡ 2 マルチホール :270人 7 会議室 :30人 3 講義室1 :45人 8 和室 :12人 4 講義室2 :81人 5 生活学習室 :24人	【開館日等】 1 開館時間:午前9時～午後5時 2 休館日:月曜日、年末年始(12/29～1/3)、国民の祝日(国民の祝日が月曜日の場合はその翌日も休館日)、施設点検日(年間1日程度)	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	公益財団法人 千里リサイクルプラザ					
(2)指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日(5年間)					
(3)選定方法	非公募					
(4)指定管理者 が行う業務内容	1 市民工房の運営事業 6 施設の使用許可及び使用料の徴収業務 2 不用品交換事業 7 施設の維持管理業務 3 市民・事業者向け啓発事業 8 視察・見学者の応対業務 4 調査及び研究事業 9 多様な主体と連携業務 5 展示等に関する事業 10 吹田市資源リサイクルセンター事業の 					

※数値に誤りがあったため修正しています。

3 成果指標(活動指標)

成果指標(活動指標)		令和4年度		令和5年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	貸室利用件数(利用率) (件)	454(18.1%)	605(19.2%)	600(19.0%)	666(22.2%)
2	貸室利用人数 (人)	8,133	13,049	13,000	15,098
3	視察・見学者数(団体数) (人)	1,948(37団体)	4,448(64団体)	4,500(65団体)	5,272(77団体)
4	工房利用者数(受託のみ) (人)	3,793	4,868	4,000	3,942
5	講演会参加者数(回数) (人)	27(1回)	76(1回)	60(1回)	47(1回)
6	あげます・もらいますコーナー 持ち込み品数(持ち帰り品数) (品)	17,111(12,103)	20,408(15,378)	18,000(12,500)	18,915(14,908)
7	常設型フリーマーケット来室者数(出店数) (人)	5,002(201店)	6,346(265店)	6,000(250店)	6,519(250店)
8	環境出前講座参加者数(回数) (人)	231(17回)	951(58回)	1,150(70回)	1,686(94回)

4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	1 各市民工房利用や施設見学、展示室(出張展示を含む)等でのアンケート 2 メールや電話、SNSを通じた意見・提案 3 ホームページのアクセスデータ分析
(2)把握結果	1 来館せず事前に再生自転車や再生家具のラインアップを知りたい。 2 電話に加えて環境実践教室のネット申込も可能にして欲しい。 3 ホームページの種々の情報をより分かりやすいものにして欲しい。
(3)結果を受けての対応状況	1 抽選販売の再生自転車やオークションの再生家具の現物写真のホームページ掲載 2 環境実践教室他のネット申込システムの導入 3 イベントや体験、講座開催等の利用者への迅速でわかりやすい情報提供

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・市民、企業、団体等と協働し、施設の設置目的に沿った運営が行われている。 ・関係法令を遵守した運営が行われており、利用者の公平性が確保されている。 ・指定管理者が定める個人情報保護規則に基づき、個人情報は適正に取り扱われている。また、個人番号も適正に取り扱われている。
(2)施設の効用の発揮	・施設の設置目的に沿った事業計画を策定し、市からの受託事業に加え、魅力ある自主事業を実施するなど、多岐にわたった環境啓発事業を実施している。しかし、啓発手段及び啓発内容並びにそれらの頻度については、改善の余地がある。 ・利用者サービスの向上を図るため、利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・適切な管理運営体制が構築できるように人員配置を行っている。 ・安全性の確保が求められる自転車工房では、有資格者を配置し、他の工房についても熟練者を人員配置している。 ・業務内容、内部管理、接遇、災害等に関する研修(OJT研修含む。)は概ね実施されている。ごみの減量、地球温暖化問題といった、環境に関する知識向上を主とするセミナーへの参加や、他の環境啓発施設や他団体が主催するイベント等への視察等にも積極的に参加されたい。 ・本市からの指定管理委託料に加え、基本財産の運用益により、安定的な事業運営が行われている。
(4)施設の管理経費の縮減	・紙の利用を減らし、電子媒体の利用をする等、経費削減に努めており、毎年度、決算報告時には、余剰金を市に返納している。
(5)環境配慮等	・マイボトル等の利用や、利用していない場所の消灯に努めている。また、資源の分別を徹底し資源化に努めている。 ・eco検定の資格取得により、環境に関する知識向上を図っている。

(6)総合評価	循環型社会の形成に向け、市からの受託事業に加え、多様な自主事業を実施し、固定ファンを獲得している。市民に対するごみ減量・再資源化の啓発や本市第3次環境基本計画に掲げる重点戦略の推進などに貢献している。新たに開始した事業「くるくるサロン」は、学識経験者が環境に関するトピックスを取り上げて参加者と談話をするもので、参加者の環境意識の向上につながっている。 一方、展示室を利用した展示等は、啓発内容及び啓発手段が旧来のものにとどまり、より効果的な啓発を行う余地がある。また、ホームページのセンスアップ(見やすさ、ページ全体の統一感等)やSNS等を活用した情報発信に取り組み、さらなる広報の充実を図られたい。
---------	---